

みんなの声を市政に

一般質問
4名の議員が登壇



古川静子 議員

まちづくりについて

問 旧真壁町には、歴史的な町並みの中に現在一〇四棟の文化庁登録の有形文化財があることは、日本一とも言われている。

答 この歴史的町並みを見る観光客の交通のアクセスを市はどのように考えているのか。また、トイレが不足しているが、この点はいかがか。

答 経済部長 つくばエクスプレスを利用した東京方面からのお客様への対応には、つくば市と共同してつくば駅からの臨時バスを運行します。

答 建設部長 JR岩瀬駅からのバスの運行について、真壁の北関東自動車道を利用されるお客様には、桜川筑西ICを降りてからの道路交差点に案内看板を設置することや、ロードパーク内にも案内図を置くことで、スムーズにきていただけるよう努めていきます。

答 トイレについては不足が予想されますが、これを解消するため仮設トイレを設置することしており、現在設置場所を検討中です。

ひなまつり期間中、観光客の足として循環バスの運行を計画しており、関係機関とも連携をしてPRに努めていきます。

問 本年は、国指定の重要伝統的建造物群保存地区に選定される予定になっているが、こうしたことを踏まえて、もう一度この地を訪れたいという魅力あるまちづくりをして、町なかにきれいな水の流れをつくるべきだと思う。

答 また、休憩所も足りていないと思うが、市の考えを問う。

答 建設部長 水のある風景は素晴らしいものですが、道路幅員が平均で約五メートルと狭く、掘割を設けると歩行者の安全はもとより、車両の通行にも支障を来すことになるため実現は不可能と思われる。

答 経済部長 休憩所は旧郵便局、仲町休憩所、高上町駐車場があります。今後これらの整備については、他の自治体などを参考にしながら検討していきたいと考えています。



菊池節子 議員

市長選挙の結果は合併特例債実施のゴーサインではない

問 市長は再選をされたが、三三三票差という僅差だった。公共事業の見直しを公約した二位、三位の得票合計のほうが多かったため、合併特例債事業をそのまま実施することへゴーサインが出たわけではない。合併特例債事業は規模縮小し、見直しをするべきではないか。

答 市長 合併特例債事業は市の基幹事業です。慎重に協議を重ね、決定された大変重要な計画です。実施することが市民に対する責任であると考えています。

問 後期高齢者医療制度は、七十歳以上の高齢者だけを今までの保険制度から追出し、別枠の保険制度に押し込めたものである。市として、「県広域連合会」に医療制度の廃止を申し入れていただきたい。

答 市民生活部長 平成二十五年から廃止するとの計画が示されています。

問 小・中学校の需用費の不足について

答 小・中学校では用紙やインクなどの消耗品にかかる需用費が不足して困っている。市として、学校現場の予算の逼迫の状況をどのように理解しているのか。

答 学校教育課長 ご指摘のように、市校長会から予算要望書が出されているのも現状です。必要なものは財政と協議の上、増額について検討していきたい。



岩瀬駅跨線橋や図書館の見直しは



大塚健次 議員

通学路の道路整備について

問 朝、国道五〇号の混雑を避けるため、市道〇一〇三号線の中でも特に西飯岡から本郷間の通学路が増加しているが、通学路の道路整備について伺いたい。

答 建設部長 坂戸小学校西側から筑西市境までの約三キロメートルの区間については危険箇所を解消を目指し、国の補助事業が採択になる場合に、来年度が地元説明会、地権者の同意、道路設計等になると思われま。

問 平成二十三年度に用地幅の杭を打ったり、用地測量等の用地作業になると思われます。平成二十四年度に用地買収・補償を行い、工事着工については二十五年度になるかと想定しています。

答 全対策について伺いたい。
問 教育長 各小中学校独自で登下校時の安全指導、児童生徒を交通事故から守るための啓発及び



整備が待たれる市道0103号線

諸事業を実施しています。学校を通じて指導の徹底を図るよう指示していきたいと思えます。

問 火災警報器の無料設置について
答 お年寄りだけで生活をしている家庭に対し、火災警報器の無料設置の考えはあるのか伺いたい。

答 保健福祉部長 桜川市の六十歳以上のひとり暮らし、高齢者借家や公営住宅を除く個人住宅に住む四〇〇世帯に対し、二十二年より火災警報器設置費用の助成をしていきたいと考えています。



川那子秀雄 議員

入札業者の選考手順・方法について

問 最近の入札報告書を見ると、偏っているのではないかと入札業者の選考手順、方法について伺いたい。

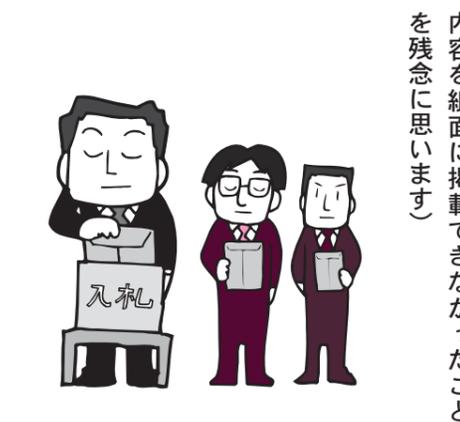
答 総務部長 事業担当課より指名業者推薦書が財政課に提出され、選考委員会によって審議して、信用度、実績等、技術的適性等有資格者の選定を行い市長に報告しております。

問 岩瀬駅前まちづくり事業でのトイレ工事は七月中に終わっている。市民からの電話があり四ヵ月もたつて開放できないのは怠慢ではないか。

答 建設部長 遅れたことをお詫びします。土木事務所の検査を受け、早々に開放すべく努力したい。

問 学校耐震診断業務入札を七月二十八日に行い、その後入札辞退に伴う再入札が十一月二日に行われたが、工区を二工区になぜ分けたのか。

答 教育長 工期の設定が短くなるため、受注者の負担軽減を



問 落札率について、業務委託は九七%台、下水道等は九四%台で高いのではないかと。
答 副市長 適正な競争が行われたいものと思います。
答 上下水道部長 企業間でのことなので私たちの入るところではありません。

まとめ 官製で談合があったとは言いませんが、公平公正な業者指名に相努めていただきたい。(都合上詳しい内容を紙面に掲載できなかったことを残念に思います)